



# GMB 株式会社

2011年3月期第2四半期

## 決算説明会資料

2010年11月24日・25日



証券コード 7214

<http://www.gmb.jp>

注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満切捨て記載しております。



## I. 2011年3月期上期実績

II. 2011年3月期通期見通し

III. 上期の総括 & 今後の対応

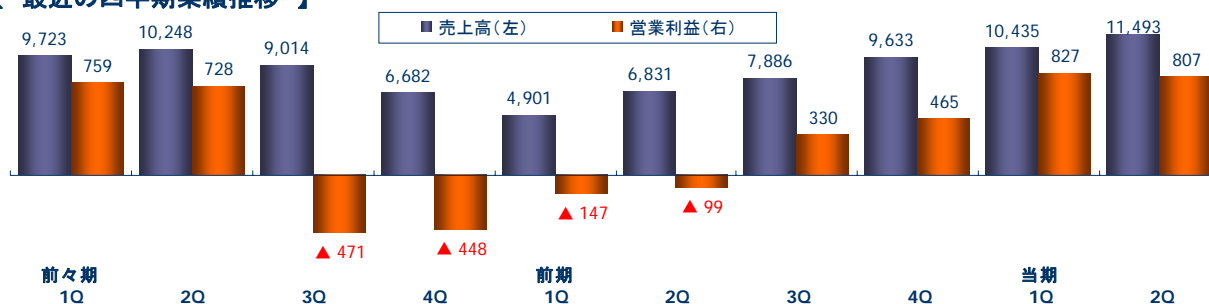
# 2011年3月期1-2Q 損益実績



(単位:百万円・%)

	前期1-2Q累計		当期1-2Q累計		前期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	差額	増減率(%)
売上高	11,733	(100.0%)	21,928	(100.0%)	10,195	+86.9
売上総利益	1,637	(14.0%)	4,290	(19.6%)	2,653	+162.1
営業利益	▲ 219	(△1.9%)	1,645	(7.5%)	1,864	-
経常利益	▲ 237	(△2.0%)	1,359	(6.2%)	1,597	-
純利益	▲ 92	(△0.8%)	797	(3.6%)	889	-
1株当たり純利益(円)	▲ 17.71		152.99			

## 【 最近の四半期業績推移 】

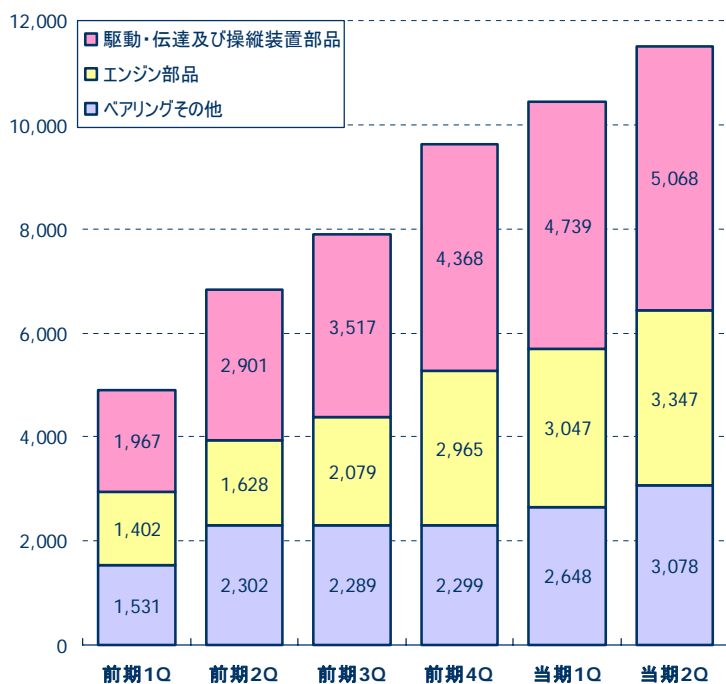


- 3 -

# 売上高の品目分類別推移 (四半期毎)



(単位:百万円)



### 1. 駆動・伝達及び操縦装置部品

韓国新車用のバルブスプールなどAT部品は完成車メーカーの好調と6速対応で数量増、等速ジョイントも適用車種増加。

欧州OEM向けユニバーサルジョイントが回復。

### 2. エンジン部品

駆動系同様に韓国・欧州新車用順調。

米国以外の補修用ウォーターポンプも需要回復。

### 3. ベアリングその他

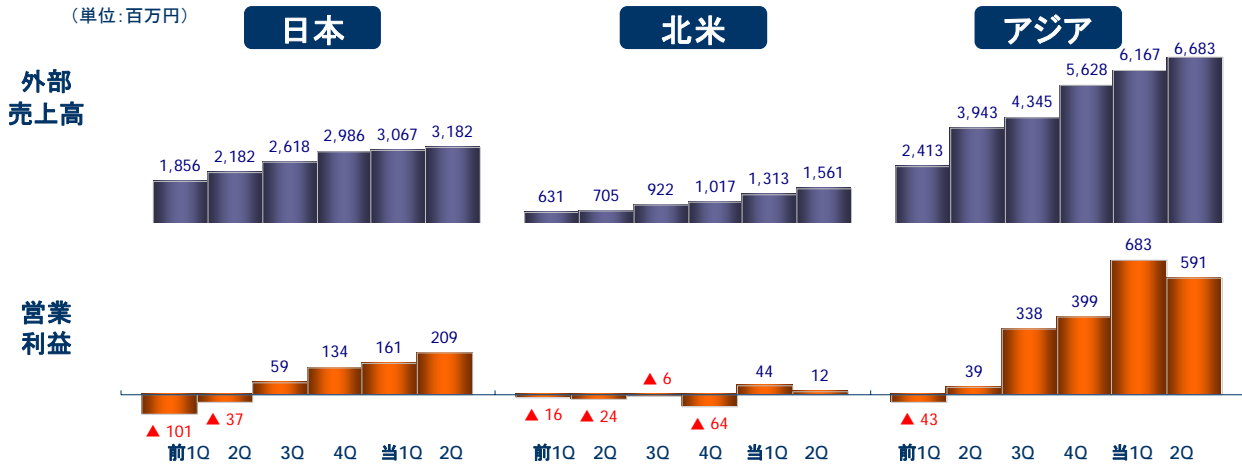
米国中心に海外補修用のテンショナー・アイドラー・ベアリングが好調。

- 4 -

# セグメント実績推移（四半期毎）



(単位:百万円)



## 1. 日本

新車用・補修用部品とも順調に需要回復するなか、補修用ウォーターポンプや新車用ユニバーサルジョイントの生産フル稼働。稼働率改善で利益も回復するが、納期対応のための輸送コストも増加。

## 2. 北米

着実な拡販により補修用ウォーターポンプ・テンショナー・アイドラー・ベアリングなどの販売増加することで、営業利益も黒字転化。

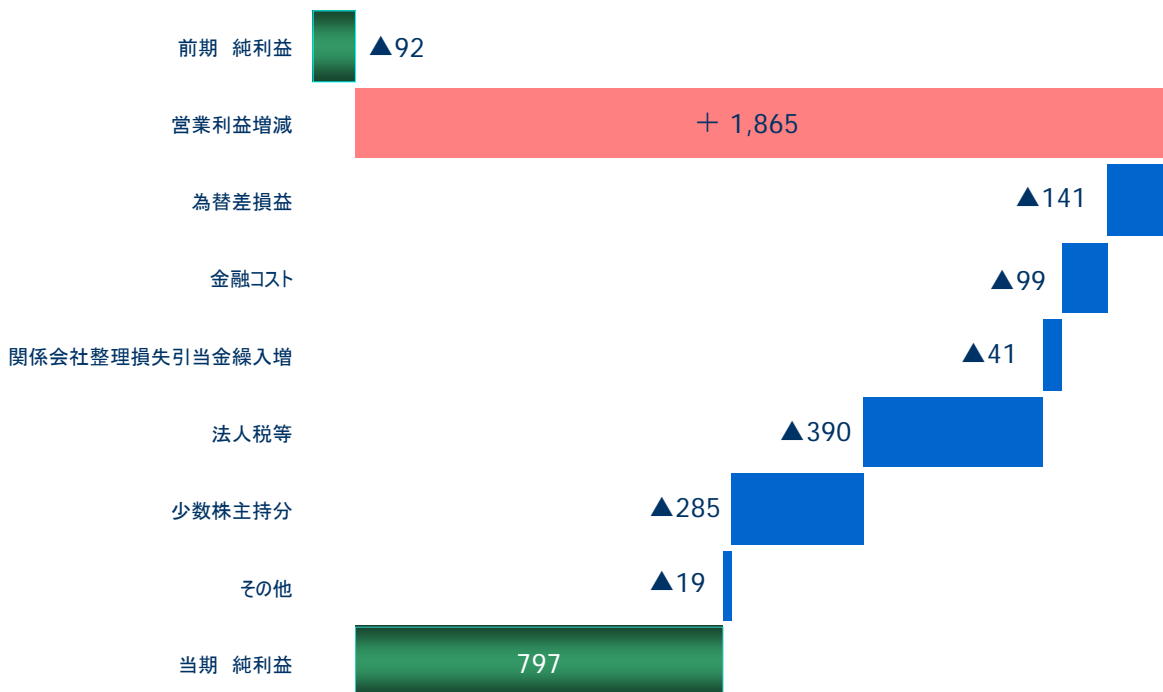
## 3. アジア（※当期より新セグメントに変更しているが、比較のため「韓国」「中国」「タイ」の3セグメント合計をアジアとした）

韓国単体は、国内・海外とも新車用需要拡大し、ウオンベースで過去最高売上更新。増収効果で利益も増加するなか、2Qは人件費増加で1Q比やや減益。他の生産拠点でも原材料価格上昇の影響も限定的で、日韓部品生産の稼働率改善もあり収益改善。

# 営業利益以下の増減要因（1-2Q）



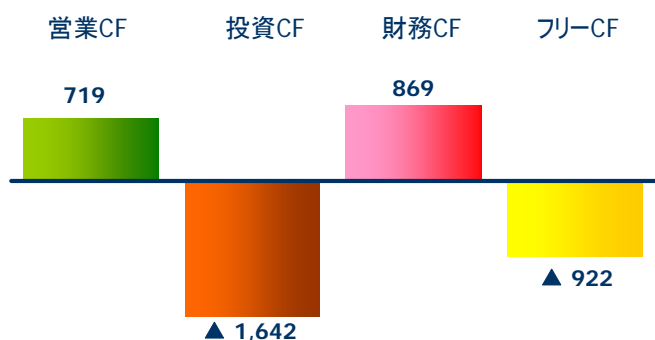
(単位:百万円)



# キャッシュ・フローの実績（1-2Q）



	前期	当期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	715	719	+ 4
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,660	▲ 1,642	+ 17
財務活動によるキャッシュフロー	46	869	+ 822
フリーキャッシュフロー	▲ 944	▲ 922	+ 22



## 【当期の主な内訳】

### 1. 営業CF

税金等調整前利益	1,323百万円
減価償却費	1,100百万円
売上債権の増加	▲ 1,166百万円
たな卸資産の増加	▲ 315百万円
仕入債務の減少	▲ 329百万円

### 2. 投資CF

設備投資	▲ 1,901百万円
TKG 増資	▲ 41百万円

### 3. 財務CF

借入金の増加	566百万円
社債の発行	500百万円



I. 2011年3月期上期実績

II. 2011年3月期通期見通し

III. 上期の総括 & 今後の対応

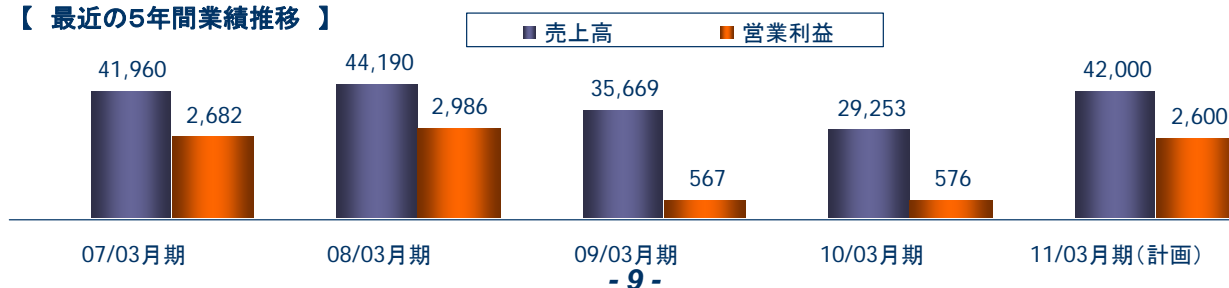
# 2011年3月期通期 損益見通し



(単位:百万円・円)

	10/03月期 (通期実績)	11/03月期			前期比
		(1Q-2Q実績)	(3Q-4Q計画)	(通期計画)	
売上高	29,253 (100.0%)	21,928 (100.0%)	20,072 (100.0%)	42,000 (100.0%)	+44%
営業利益	576 (2.0%)	1,645 (7.5%)	955 (4.8%)	2,600 (6.2%)	+351%
経常利益	338 (1.2%)	1,359 (6.2%)	791 (3.9%)	2,150 (5.1%)	+535%
当期純利益	75 (0.3%)	797 (3.6%)	303 (1.5%)	1,100 (2.6%)	+1364%
一株当たり 当期純利益	14.41	152.99	-	211.07	

## 【最近の5年間業績推移】

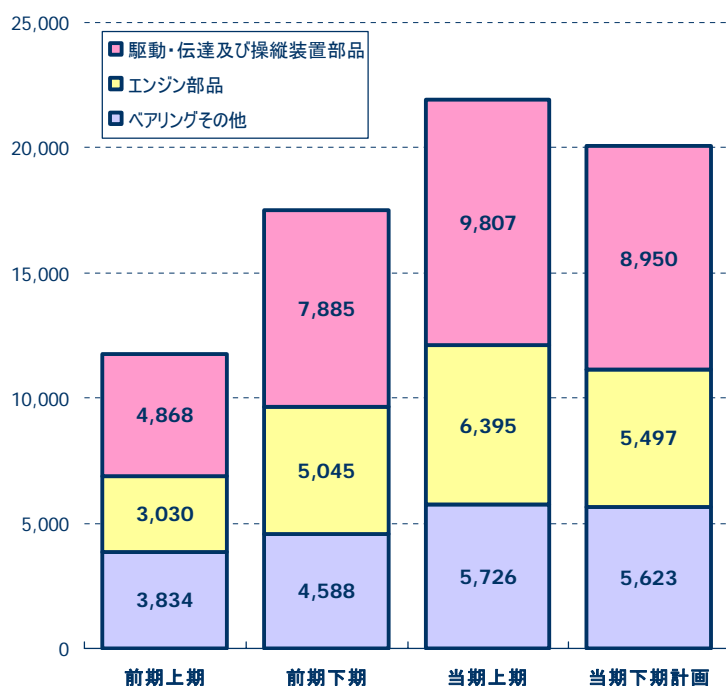


- 9 -

# 売上高の品目分類別増減見通し (半期毎)



(単位:百万円)



下期の売上は換算レートの円高(ウォン安・ドル安)影響がなければ、ほぼ上期並みの見通し。

### 1. 駆動・伝達及び操縦装置部品

韓国新車用のバルブスプール・ジョイント類は上期並みの予想。

欧州新車用ユニバーサルジョイントが増加。

### 2. エンジン部品

駆動系同様に韓国・欧州新車用は上期並みながら、海外補修用ウォーターポンプが円高の影響でやや伸び悩む予想。

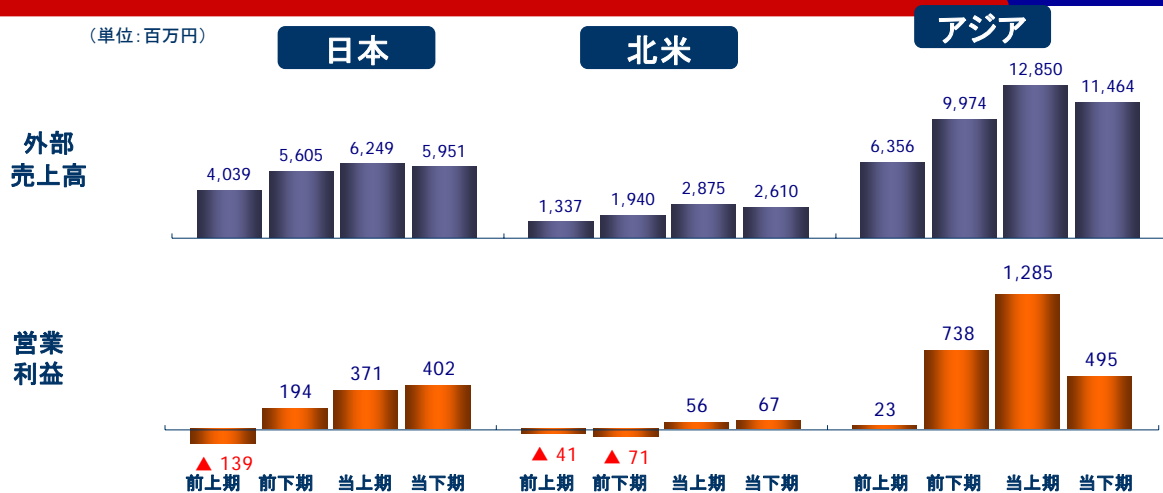
### 3. ベアリングその他

米国中心に海外補修用のテンショナー・アイドラー・ベアリングが引き続き好調。

# セグメント見通し（半期毎）



(単位:百万円)



## 1. 日本

海外補修用部品でのウォーターポンプの販売が円高でやや停滞予想ながら、上期までの受注消化で微減にとどまる予想。欧州新車用ユニバーサルジョイントの受注増加を見込む。営業利益面でも、上期並みを計画。

## 2. 北米

大手チェーンストアの在庫調整で売上若干減少するも、グループ外からの調達ルート拡大と調達コスト引き下げ効果により、営業利益は上期並みの黒字を予想。

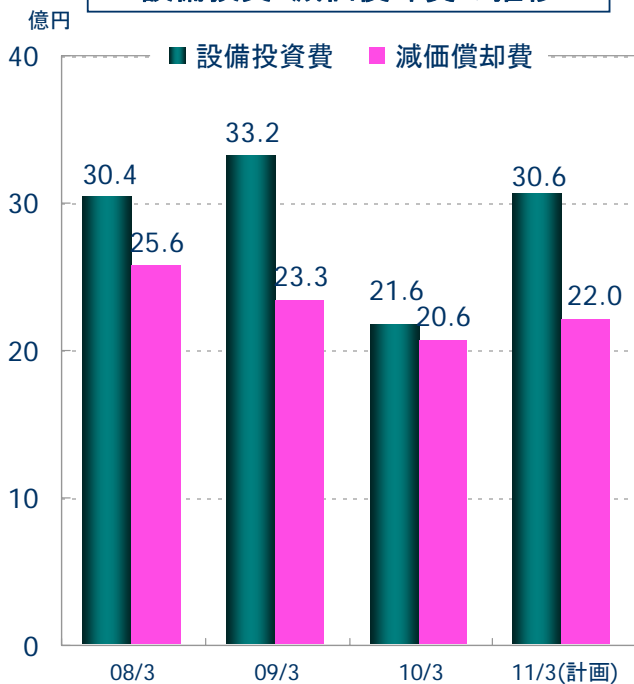
## 3. アジア

韓国単体は、ウォンベースでの売上は上期並みに順調に推移し通期で過去最高を更新予想。しかしながら、人件費増加などで営業利益減少を見込む。他の生産拠点でも調達コストの上昇などにより、上期比減益予想。

# 設備投資・減価償却費推移



## 設備投資・減価償却費の推移



## '11/03月期設備投資計画の内訳

	設備投資 (億円)	主な内容
日本	3.3	維持・合理化中心
韓国	22.0	6速AT関連対応増産・新規開発・更新等 (第二工場増築前倒含む)
中国	2.9	生産能力の増強 日本・韓国から生産移管 維持・更新
タイ	2.4	
計	30.6	

# 主要グループ企業の計画数値



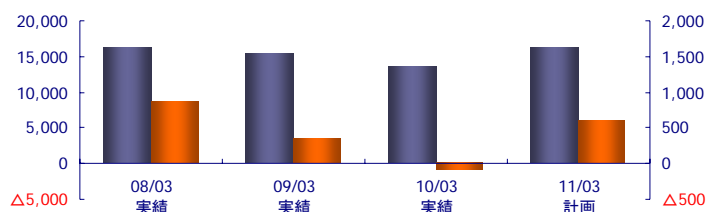
## GMB(単体)

(単位:百万円)

	08/03 実績	09/03 実績	10/03 実績	11/03 計画
売上高	16,214	15,340	13,555	16,200
営業利益	876	349	△107	600
換算レート	-	-	-	-

左軸:売上高

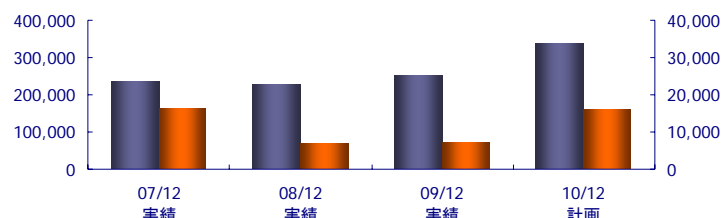
右軸:営業利益



## GMB KOREA CORP.

(単位:百万ウォン)

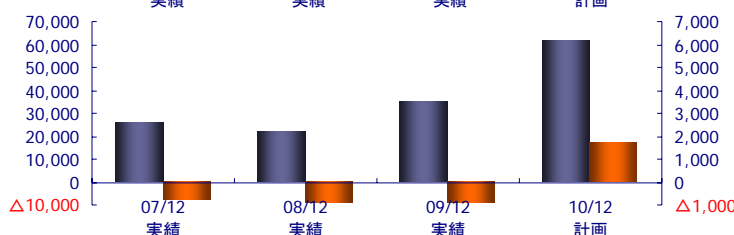
	07/12 実績	08/12 実績	09/12 実績	10/12 計画
売上高	231,908	225,952	248,954	338,000
営業利益	16,303	6,533	7,106	15,800
換算レート	0.1269	0.0963	0.0736	0.0760



## GMB NORTH AMERICA INC.

(単位:千ドル)

	07/12 実績	08/12 実績	09/12 実績	10/12 計画
売上高	26,050	21,888	34,889	62,000
営業利益	△814	△906	△901	1,700
換算レート	117.84	103.46	93.58	88.50



※在外子会社については、連結調整前の現地決算を期中平均レートで円換算



## I. 2011年3月期上期実績

## II. 2011年3月期通期見通し

## III. 上期の総括 & 今後の対応

① ギリシャショックを端緒とした為替変動による世界経済が踊り場に急速な円高による輸出競争力の低下  
新興国需要の拡大傾向継続

② GMBグループは、新車用部品・補修用部品の両市場で販売強化し、主に韓国・欧州の新車用部品市場の需要拡大に対応した生産体制を増強

③ 2011年3月期 上期は、

売上高	219億円	(前期比+86.9%)	5四半期連続増収
営業利益	16億円	(前期は営業損失)	4四半期連続営業黒字

## GMBグループのトピックス

### ■ グループ全社で黒字化を達成

- 日本: 海外補修用市場販売、欧州向け新車用部品輸出回復
- 米国: 補修用ウォーターポンプなどの販売増加
- 韓国: 国内自動車メーカー、部品メーカー向け販売増加
- 中国: 生産量の改善・生産性向上で利益243百万円
- タイ: 人材育成強化、コスト削減効果が表れ利益138百万円



## GMBグループの課題と施策

- 日本:補修用製品の販売強化を図ることを基盤に、
  - OEM提案力強化の対策も打つ
  - 韓国GMBと共同での製品提案
  - 生産移管スケジュールの見直し
- 韓国:現代グループの世界戦略への迅速な対応
  - 海外系企業への更なる深耕
  - 次世代自動車対応



ユニバーサルジョイント

## GMBグループの課題と施策

- 米国:補修用部品の多様化
  - 大手チェーンストアへの対応
- 中国:生産能力増強
  - 拡大する外資系・民族系メーカー対応
  - 国内のニーズ把握
- タイ:生産能力増強



ウォーターポンプ

- 将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 本資料および当社IRに関連するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

＜お問い合わせ先＞  
GMB株式会社 経営管理室  
電話 : 0745-44-1912  
Email : [ir@gmb.jp](mailto:ir@gmb.jp)